

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	下水道課	主管課長名	齋藤 修一
5-5	施策名	下水道の整備	関係課	なし		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,738	40,467	40,197	
実績値						41,278	40,483				
②桜川市世帯数			見込値	世帯		13,700	13,684	13,668	13,652	13,636	
						実績値	13,700	13,660			
的		①生活排水処理普及率	目標値	%		68.70	69.00	69.30	69.60	70.00	
						実績値	70.5	69.1			
			②公共下水道普及率	目標値	%		15.70	15.80	15.90	16.00	16.10
							実績値	15.8	16.0		
		③桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地蔵橋」地点)	目標値	mg/L		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
						実績値	2.3	1.4			
	④公共下水道接続率 農業集落排水接続率	目標値	%		54.0	56.0	58.5	60.0	61.5		
					実績値	53.47	56.67	82.5	83.5	84.0	
	⑤公共下水道使用料収納率 農業集落排水使用料収納率	目標値	%		98.80	98.80	98.80	98.80	98.80		
					実績値	97.65	97.65	97.65	97.65	97.65	
成果指標設定の考え方	○「快適で衛生的な生活環境で暮らしている」の指標については①生活排水処理普及率の指標が上がれば成果が上がると考えられる。 ○「公共水域の水質汚濁防止」について、桜川市内の最下流「地蔵橋」地点の水質(BOD)で見る。(基準値2.0mg/L)										
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口、世帯は、毎年10月1日の常住人口。 ○①生活排水処理普及率、②公共下水道普及率、④公共下水道接続率・農業集落排水接続率は、生活排水ベストプランより求める。⑤公共下水道使用料収納率・農業集落排水使用料収納率は、過去の実績より求める。										

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理普及率は、30年度で69.1%、29年度で70.5%で1.4ポイント減少した。 公共下水道を対象とする下水道普及率は30年度末で16.0%、29年度末は15.8%であり0.2ポイント増加した。 桜川の水質については、30年度は1.7mg/L、29年度は2.3mg/Lであり、0.6ポイント向上した。 公共下水道接続率は、30年度末で、56.67%、29年度は53.47%と3.2ポイント増加した。農業集落排水接続率は、30年度81.2%、29年度80.4%で0.8ポイント増加した。これらの要因として、公下、農集とも、H30年度より接続工事費補助金を導入したことによると思われる。 公共下水道使用料収納率は、30年度は98.75%、29年度は98.78%であり0.03ポイント低下した。農業集落排水使用料収納率は、30年度は97.86%、29年度は97.56%であり0.3ポイント向上した。 		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水処理普及率は、30年度目標値が、69%に対し、69.1%であり、0.1ポイント上回った。 公共下水道普及率は、30年度目標値は15.8%に対し、16.0%であり、0.2ポイント上回った。 桜川の水質(BOD)は30年度目標値は、1.1mg/Lに対し、1.4mg/Lであり、0.3mg/L下回った。 公共下水道接続率は、30年度目標値は、56.0%に対し、56.67%と0.67ポイント上回った。 農業集落排水接続率は、30年度目標値は、81.5%に対し、81.2%であり0.3ポイント下回った。 公共下水道使用料収納率30年度は、98.80%に対し、98.75%と0.05ポイント下回った。 農業集落排水使用料収納率は、30年度目標値は、97.65%に対し97.86%であり、0.3ポイント上回った。 		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で以下の事業が大きく貢献したと考える。(1)公共下水道普及促進事業は、公共下水道事業接続工事費補助金の拡充により、接続率が上回った。</p> <p>(2)個人設置型浄化槽補助事業は、公共下水道区域及び農業集落排水の供用開始区域を除いた区域を対象に、合併浄化槽設置工事(新規・転換)を行う申請者に合併浄化槽設置工事費一部として補助金を交付する事業である。それにより、水質向上につながる。</p>	<p>下水道事業の効率的で健全な事業運営に努め、以下の取り組みを重点的に行う。</p> <p>(1)下水道事業の普及啓発に努め、公共下水道接続工事補助金の拡充により、接続率の拡充を図る。</p> <p>(2)今後も100基を目標として、続けていく。</p>